

理科授業振り返りシート補助資料①の使用例

	主体的な学びの視点における児童の姿	1～4	1・2	対話的な学びの視点における児童の姿	1～4	1・2	深い学びの視点における児童の姿	1～4	1・2
自然の事物・現象に対する気づきから問題を見いだす	自然の事物・現象を、既習の内容や生活経験の中で獲得した知識を用いて解釈しようとしている。	2	2	驚きや疑問を感じたり、自分なりの解釈をするために、自然の事物・現象を繰り返し見たり確かめたりしている。	4	2	自然の事物・現象を、質的、量的、時間的・空間的などの視点で観察している。	2	2
	自然の事物・現象を目にした際に、自分なりに解釈したことを言葉にしたり表情に出したりして表現している。	3	2	自然の事物・現象に対する驚きや疑問、自分なりの解釈を友達と交流している。	4	2	自然の事物・現象同士、自然の事物・現象と自分の認識を比較し、驚きや疑問を表現している。	3	2
	何をはっきりさせたいと感じているのかを自分の言葉で表現できるように考えている。	4	2	自然の事物・現象に対する驚きや疑問、自分なりの解釈を、自分なりに捉え直している。	4	2	自然の事物・現象に対する驚きや疑問から、自分の理解にすわりの悪さを感じ、はっきりさせたいと感じている。	2	2
予想や仮説を設定する	自然の事物・現象の変化とそれに関わる要因が何か、自分の言葉で表現している。	1	1	目の前の自然の事物・現象の変化と似ている生活経験や既習内容を想起している。	3	2	自然の事物・現象の変化とそれに関わる要因とを結び付けて捉えている。	1	1
	目の前の自然の事物・現象の変化に似ている生活経験や既習内容がないか考えている。	2	1	目の前の自然の事物・現象の変化とそれに関わる要因について、友達と交流している。	2	2	目の前の自然の事物・現象の変化とそれに関わる要因を、生活経験や既習内容と関係付けて捉えている。	3	1
	自分の予想や仮説を、なぜそう考えるのかという根拠をもって自分なりに表現している。	2	1	目の前の自然の事物・現象の変化とそれに関わる要因について、それで良いか自分なりに考えている。	3	2	自分の生活経験や既習内容を根拠に、予想や仮説を設定している。	2	1
観察、実験を構想し、計画を立案する	自分が経験した実験方法などを基にして、どのような実験をすれば自分の考えを確かめられるのかを表現している。	3	2	自分が計画した観察、実験の方法を、道具や時間を踏まえて、実施可能かという視点で検討している。	2	2	自分が計画した観察、実験の方法を実証性、再現性、客観性という視点で検討している。	4	2
	自分が経験した実験方法などを基にして、どのような道具を使えば自分の考えを確かめられるのかを表現している。	4	2	自分が計画した観察、実験の方法と他者が計画した観察、実験の方法とを比較し、検討している。	2	2	自分が計画した観察、実験の方法の条件統制が行われているかという視点で、検討している。	4	2
	自分の予想や仮説を基にして、自分は、どのような実験の結果であれば自分の考えが正しいといえると考えているのかを表現している。	4	2	自分が経験したり学習したりしたことを基にして、自分の予想や仮説が正しいときの観察、実験の結果を検討している。	2	1	自分の予想や仮説を基に、どのような実験の結果であれば自分の考えが正しいといえるのかを検討している。	4	2
観察、実験を実施し、得た結果を整理・分析する	自分で観察、実験を行ったり、グループ実験の役割を引き受けたりしている。	4	2	自分が得た実験の結果を、実験で用いたものや実験の方法を振り返りながら検討している。	2	2	実験の結果の共通点、相違点に着目して整理し、その分類や傾向性を考えている。	3	2
	自分が得た実験の結果を、自分なりに記録している。	3	2	自分が得た実験の結果を、他者の実験の結果と比較しながら、検討している。	2	2	予想や仮説と実験の結果を関係付け、実証する結果、反証する結果、予想や仮説とは関係ない結果と分類している。	4	2
	思考ツールなどを用い、自分が得た結果を自分なりに整理し、その傾向性などをつかもうとしている。	3	2	自分が得た実験の結果を、自分の予想や仮説に基づいて検討している。	2	2	実験の結果の実証性を判断するために、実験の方法や手順、観察の視点などが正しかったか検証している。	3	2
見いだした問題に対して結論を導き出す	自分の学習問題に対して、自分が得た実験の結果を基に、何が言えるのかを表現している。	2	1	自分が実験したものを基に、自分が得た実験の結果からいえること、それを基に推論できることを検討している。	1	1	自分の学習問題に対する考えを、実験で得られた結果を根拠に考えている。	3	2
	自分の考えの根拠となる実験の結果を、自分の言葉で表現している。	3	1	自分の考察や結論と他者の考察や結論を比較し、自分の考えがより妥当なものになるように検討している。	2	1	実験の結果から間違いなく言えることと実験の結果の共通点などから推論できることを区別している。	2	2
	自分の考えの根拠となる結果がどのような条件下で得られたものか、その実験方法などを自分の言葉で表現している。	2	1	自分の学習問題と予想や仮説、自分の実験の結果、考察と結論が整合しているか検討している。	1	1	学習問題から結論までを、一連の流れとして捉えて、前後の関連を踏まえて考えている。	1	2
学習を振り返る	学習問題のきっかけとなった事象に対して自分が作り上げた考えを適用してどのように説明できるかを表現している。	1	1	自分が問題解決の過程で考えたことを、ほかの自然の事物・現象でも適用できないかを考えている。	2	1	今回学習した内容と今まで学習したこととを比較して分かったことや疑問に感じることを表現している。	1	1
	問題解決の過程を振り返り、どのような考え方や学び方をしたことで考えを作り上げることができたかを表現している。	2	1	自分の問題解決の過程と他者の問題解決の過程を比較し、よりよい考え方を考えている。	1	1	今回学習した内容と今まで学習したことや身の回りのことがどのように関係付けられるのかを考えている。	2	1
	単元を見通して、今の自分が分かっていること、これから知りたいことを考え、それを表現している。	3	1	自分が今まで経験してきたことと今回の問題解決を比較し、よりよい考え方を考えている。	2	1	自分が今までどのように考えていて、学習を通してどのように考えるようになったのかを整理している。	1	1

主体的	自然の事物・現象に対する気付きから問題を見いだす	主・問	18
主体的	予想や仮説を設定する	主・予	5
主体的	観察、実験を構想し、計画を立案する	主・観	22
主体的	観察、実験を実施し、得た結果を整理・分析する	主・分	20
主体的	見いだした問題に対して結論を導き出す	主・結	7
主体的	学習を振り返る	主・振	6
対話的	自然の事物・現象に対する気付きから問題を見いだす	対・問	24
対話的	予想や仮説を設定する	対・予	16
対話的	観察、実験を構想し、計画を立案する	対・観	10
対話的	観察、実験を実施し、得た結果を整理・分析する	対・分	12
対話的	見いだした問題に対して結論を導き出す	対・結	4
対話的	学習を振り返る	対・振	5
深い	自然の事物・現象に対する気付きから問題を見いだす	深・問	14
深い	予想や仮説を設定する	深・予	6
深い	観察、実験を構想し、計画を立案する	深・観	24
深い	観察、実験を実施し、得た結果を整理・分析する	深・分	20
深い	見いだした問題に対して結論を導き出す	深・結	12
深い	学習を振り返る	深・振	4

